



会長
挨拶

中小企業の成長戦略策定は、中小企業診断士にお任せください！



岡山県中小企業診断士会
会長 太田 記生

皆様におかれましては、平素より本会の活動にご理解、ご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

本誌では、中小企業の皆様、中小企業支援実施機関の皆様などにお役に立てる情報発信に努めてまいります。

さて、我々中小企業診断士は、中小企業の経営課題に対応するための診断・助言を行う専門家です。

法律上の国家資格として、

中小企業支援法第11条に基づき経済産業大臣が登録します。本会には現在169名の会員が在籍しており、各々が

多様な専門性とキャリアを持つプロフェッショナル集団となっております。

中小企業診断士の業務と役割には、中小企業の成長戦略策定やその実行のための支援、中小企業と行政・金融機関等を繋ぐパイプ役、中小企業施策の適切な活用支援等、幅広い活動があります。

中小企業の成長戦略策定や実行支援では、中小企業の経営課題の解決に向けた、専門的知識と経験をもとにした経営計画策定支援や、伴走型の支援を行っています。

中小企業と行政・金融機関等を繋ぐパイプ役では、中小企業の現状や課題を共有するとともに、連携した支援を行う役割を担っています。

中小企業施策の活用では、中小企業支援施策の情報提供を行うとともに、中小企業の皆様の施策活用促進に向けたご支援を中小企業支援実施機関とともにしています。

物価高騰、人手不足、DXやGXの進展など、中小企業を取り巻く環境は急激かつ不確実に変化しています。このような中でも中小企業の成長発展のために、本会会員は、中小企業の皆様、中小企業支援実施機関の皆様の期待に沿うべく、日々研鑽を重ねています。

経営に関する相談は「中小企業診断士」へ。今後ともよろしくお願いたします。

診断士会トピックス



令和7年度の新役員体制が発足

【定時総会】
(2025. 6. 21)

令和7年6月21日（土）、サン・ピーチ OKAYAMAにて第13回定時総会を開催し、新年度の役員体制が承認されました。会長には太田記生、専務理事副会長には佐藤康之が就任し、理事には乙倉淳、栗原茂、草野栄路、大月義明、長船洋人、原田大一郎、亀山友一郎の7名が、監事には植野悦次と松本直也が選任され、新任執行役員も加わり、総勢26名で新年度をスタートしました。地域中小企業の経営支援と活性化に向け、一層の取り組みを進めてまいります。

中小企業診断士の日記念事業のお知らせ

【行事予定】
(2025. 11. 5)

中小企業診断士の日記念事業として、「え！そんなとこまで 中小企業診断士」と題したセミナーを令和7年11月5日（水）15時よりピュアリティまきびにて開催します。本事業は11月4日が中小企業診断士の日として制定されたのを受けて毎年企画しており、今年は5つの支援事例を紹介し、中小企業診断士の守備範囲の広さを知っていただける企画となっております。中小企業支援実施機関の皆様、行政や公的機関の皆様のご参加をお待ちしております。

(4ページ目へ続く)



- 会長挨拶 1
- 診断士会トピックス 1,4

- 特集「事業承継」 2
- 研究会活動報告 3

- 新会員のご紹介 4
- 編集後記 4



事業承継

岡山県中小企業診断士会では、県内の頑張る中小企業の皆様に対する会員の助言・指導事例を毎回『特集』としてお届けします。

近年、少子高齢化や後継者不足により中小企業の事業承継は困難さを増しています。企業が将来にわたり安定的に成長していくために、適切な外部支援や専門的なサポートの提供が一層求められています。今回、備前東商工会と連携して行った事業承継の支援事例として、有限会社藤田商会様の取組を紹介します。

支援の背景

有限会社藤田商会様は、「耐火煉瓦のまち」備前市三石で半世紀以上にわたり、製鉄などに使われる高炉向け耐火煉瓦の回収・再生・販売を手がけています。



後継者の藤田潤さんとは令和2年、新型コロナウイルス感染拡大期に備前東商工会の個別相談会で出会いました。相談会での支援や専門家派遣を重ねるなかで、潤さんが父親からの事業承継を控えていること、耐火物業界の先行き不安や三石地区の過疎化など、自社や地域の将来に対し、様々な悩みを抱えていることを知りました。

課題の認識

本事例では、親族内承継を円滑に進めることだけでなく、厳しい外部環境のなか、新たな経営者のもとで事業の持続的成長を実現することも重要な課題でした。世界的な脱炭素化の流れから、高炉の閉鎖や電炉への置き換わりで耐火物業は転換期を迎えています。同社は、地場産業で三代にわたり事業基盤を築いてこられました。既存事業は耐火物分野への依存度が高く、事業モデルの見直し避けられない状況でした。

支援の内容と成果

後継者は厳しい事業環境の中で危機意識を強く持ち、新たな事業展開を常に模索しており、多くのアイデアを持ち合わせていました。そこで、新たな事業計画の策定を通じて実現可能性や収益性、リスク等を客観的に評価するよう助言し、将来を見据えて新たな成長の基盤づくりを踏み出していくこととしました。

廃棄煉瓦を有効活用したガーデニング用チップの商品開発（令和3年）や、アンティーク煉瓦の刻印サービスで店舗や一般家庭の顧客層開拓（令和4年）など、自社の強みを生かした新しい商品やサービスを事業化していきま

した。なかでも、令和5年に実施した飲食事業の立ち上げは、思い切った新分野への進出で、商圏分析、ノウハウや運営体制の確立、資金調達等、多面の支援ニーズがありました。既存事業との関連度が低い多角化は難易度が高いと感じた一方、事業者の思いは強く、新たな挑戦によって地域経済への貢献やまちの賑わい創出を目指す姿勢には、自然と敬意がわくものでした。策定した事業計画に基づき、商工会経営指導員と力を合わせ、事業者の課題解決に向けて組織的、継続的な支援を行いました。

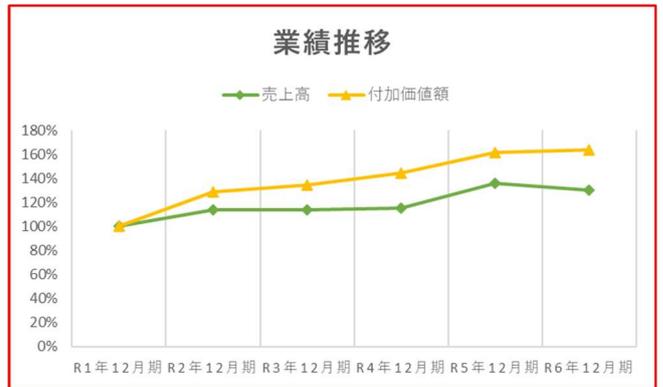


令和6年1月、備前の煉瓦窯を導入したテイクアウトホットドッグ・ピザ店「Re:BRICK」を開業するに至りました。

一連の新たなチャレンジの成果として、同社は4期連続で岡山県経営革新計画の承認を経て右肩上がりの業績拡大を達成されています。この5年間で売上高は1.3倍、営業利益は5.5倍、付加価値額は1.6倍の成長となりました。

◇岡山県経営革新計画の承認状況

①令和2年9月「自社のノウハウを活かしたレンガチップによる新商品開発事業」
②令和3年12月「顧客の生産性向上に貢献できる刻印耐火レンガの販売事業」
③令和4年9月「どこにもない自分だけのおしゃれ空間をデザイン・創出事業」
④令和5年12月「備前のレンガ窯を活用した地域密着型ベーカリー事業の新設」



事例の総括

本事例では、支援先企業が事業環境の変化に対応するため、事業承継と並行して経営の革新に取り組み、継続的な業績拡大を実現されました。令和2年から5年以上にわたり、後継者の意欲や構想を尊重しながら無理のない計画的な支援を心がけました。

中小企業診断士ならではのきめ細やかな伴走支援を続ける中で、様々な支援制度を活用し、商工会と密接に連携しました。県の事業承継コーディネーターや地元金融機関との協力体制のもと、幅広い支援を行うことができました。

不確実性が高まる経営環境下では、変革力を備えた企業経営がますます重要となっています。本事例を通して前向きに挑戦を続ける事業者の支えとなることが中小企業診断士の重要な役割であると再認識し、今後もこうした支援に一層注力してまいります。 文：岡本泰洋会員



中小企業診断士が示す、観光振興の新たな視点 -地域活性化研究会-

令和7年5月18日、岡山県生涯学習センターにおいて「観光振興につながる案内標識のあり方に関する調査研究報告」を開催しました。今回のテーマは、

地域経済や観光振興に直結する「案内標識」の課題と可能性について、実証的な調査を踏まえた研究成果を共有するものです。

まず、案内標識の基本的な分類である「指示標識」「同定標識」「図解標識」についての解説があり、案内標識は単なる表示物に留まらず、利用者の行動を導き、地域の魅力を最大限に伝える「戦略的な情報インフラ」であるとの視点が示されました。

次に、広島市・高松市・岡山市・倉敷市を対象とした比較調査の成果が報告されました。「アクセス性」「魅力発信性」「回遊創出性」「ユニバーサルデザイン性」「維持管理性」の5要件に基づき、現地調査と事例評価を行い、改善点を明確に提示。岡山県においても今後取り組むべき課題が浮き彫りとなりました。

(3) 回遊創出性
駅周辺の案内標識は、主要な観光スポットへのアクセスをサポートしており、美術館や博物館の情報は比較的充実しています。一方、駅と同様に地元のお店街への誘導は不足しています。訪問者が地元の特産に触れられるような情報が少なく、回遊性の向上にはつながっていません。地元店舗への誘導や地域産品のPRの観点からも回遊性創出を検討することもよいでしょう。



<広域案内>
岡山駅周辺の広域的な情報を得ることができ、今後、QRコード等を加えることで、観光客にとって、文化や地元特産品、地元店舗等より魅力が伝わるような情報発信も可能になります。

さらに、将来の方向性として「多言語対応」「デジタル化」「リアルタイムでの情報提供」といった施策の必要性が提言されました。これは国土交通省の統計や事例とも整合している点が注目されます。

今回の研究報告は、単なる考察にとどまらず、地域の観光振興やインバウンド需要拡大を見据えた実践的提案に結びついていることが大きな意義です。観光客が「安心して一人歩きできる環境」を整えることは、岡山県のブランド価値を高め、地域経済の活性化、さらには持続可能な国際交流の推進につながります。

中小企業診断士は分析力と提言力を活かし、観光や地域社会に関する課題にも踏み込み、行政・企業・地域住民をつなぐ役割を果たしていきます。

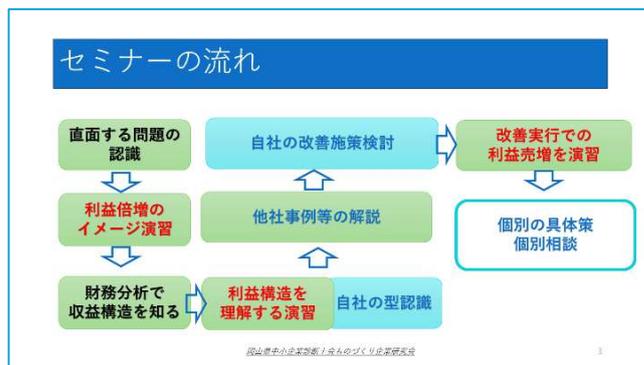


標識の分類等を解説する安藤寛会員

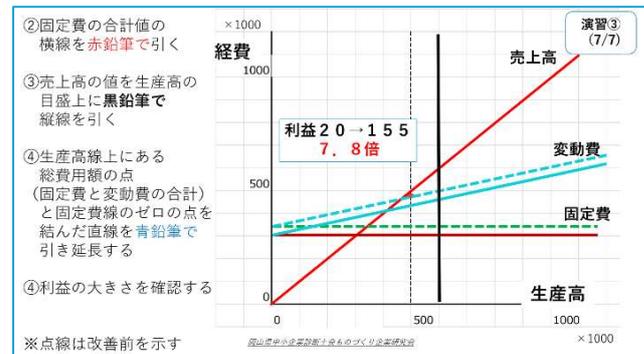
利益倍増に挑む！実践型セミナー&個別相談会を開催しています -ものづくり企業研究会-

「売上は伸びているのに利益が残らない」「人件費以外の改善策が見えない」——。こうした悩みを抱える経営者に向け、岡山県中小企業診断士会ものづくり企業研究会は、複数の商工会議所と連携し「利益を2倍にする」ための実践型セミナー&個別相談会を開催しました。

本セミナーの最大の特長は、参加企業自身が自社の決算書を分析し、翌日から実践できる改善策を導き出せる点にあります。CVP（損益分岐点）分析を用いることで、自社が「固定費型」か「変動費型」かを明確化し、売上増加やコスト改善の具体的な数値を提示。足場建設業では「売上を〇%増やす必要がある」、保険販売業では「利益2倍のための売上目標値」など、即行動に結びつく成果が示されました。



また、アクティブラーニング形式を導入し、受講者が自ら考え結論を導く流れを重視。決算書を使ったワークで改善方向を探り、人材活用や生産性向上策も学びます。専門家が難解な会計用語を噛み砕いて個別フォローするため、財務に不慣れな経営者でも安心です。



終了後には個別相談を実施し、企業ごとに利益倍増シミュレーションシートを作成。自動車販売業では「在庫停滞が赤字要因」と特定し、仕入や回転率改善、資金回収短縮を提案するなど、具体的な施策が提示されました。秘密厳守のもと、中小企業診断士がマンツーマンで伴走する体制も整えています。

本セミナーは単なる知識提供ではなく「経営者自身が数字で実感する」実践の場です。厳しい経営環境にあっても改善の突破口を見出し、持続可能な成長につなげることを目指しています。今後も支援機関の皆様とともに、地域企業の収益改善と成長を支援してまいります。

新会員のご紹介

2025年以降に岡山県中小企業診断士会に入会した新会員をご紹介します。当会には様々な専門知識を有する多数の会員が所属しており、中小企業の皆様の多様なニーズに対応いたします。



黒田 健司

事業継続と企業価値向上に資する

資本政策コンサル（事業承継・M&A）会社に勤めながら中小企業診断士活動を行っております。専門分野は事業承継・M&A、金融支援です。「黒田健人」という名前で個人出版にて書籍を6冊出版しております。



吉田 健司

新たな地で新たな人脈づくりにチャレンジします

埼玉県在住。愛夢コンサルティング代表。初回登録平成20年より一般社団法人東京都中小企業診断士協会に所属。出身地岡山県で重複入会。損害保険会社を定年退職した平成26年に独立。得意分野は組織マネジメント。



三木 健志

現場と財務の知識で企業を力強く支援

生産管理と財務会計の両面にわたる経験を活かし、企業の課題解決に取り組みます。経営者に寄り添い、実務に即した支援で企業の成長と地域経済の発展に尽力します。

岡山県中小企業診断士会のホームページにて登録会員の専門領域と専門業種及び実績などを紹介しています。是非ご覧ください。

・本ページ右下のQRコードよりアクセスし「会員のご紹介」へ進んでください。
⇒<https://osmeca.org/list>

診断士会トピックス

日本政策金融公庫 国民生活事業 神田統轄との意見交換

【対談企画】
(2025.8.27)

令和7年8月27日、日本政策金融公庫岡山支店にて、公庫の神田統轄、本会の太田会長、佐藤専務理事が、地域企業支援のあり方について意見交換を行いました。

日本政策金融公庫は、創業企業や小規模事業者向け融資をはじめ、事業承継・再生支援、協調融資などに取り組んでおられます。

中小企業診断士には、決算書や経営計画の分析を通じて資金調達に必要な事業計画を支援し、創業段階での廃業リスク低減に寄与する役割の他、事業承継診断や再生計画策定を担い、公庫や金融機関と連携して地域経済の持続性を守ることに強い期待をいただきました。

さらに、価格転嫁や人材不足といった課題に対し、付加価値分析や生産性向上策を提案し、経営者に寄り添う実践的パートナーとしての中小企業診断士の活躍についても情報共有を行いました。



編集後記

今号も最後までお読みいただき、誠にありがとうございました。皆さまへお届けする記事を選択する中で中小企業診断士が支援機関の皆様と共に、たくさんの経営支援を行っていることを改めて認識いたしました。

紙面に限りはございますが、これからも岡山県中小企業診断士会の活動を皆様へお伝えしてまいります。（広報委員会 亀山 友一郎）

岡山県中小企業診断士会 会報第26号（2025年10月15日発行）

一般社団法人 岡山県中小企業診断士会

〒700-0985 岡山市北区厚生町3-1-15
岡山商工会議所ビル5F TEL. 086-225-4552
発行人／会長 太田記生
編集人／広報委員会 亀山友一郎

